



研究会会報 No.166

大阪市小学校教育研究会

発行日
令和4年7月15日

発行所
大阪市立味原小学校内

本部事務局
代表 朝田佳明

統一主題 変化する社会を主体的に生きる子どもの教育を創造する ～主体的・対話的で深い学びの実現～

あいさつ

会長 朝田佳明



本日は大阪市小学校教育研究会全体会にご参加いただき、誠にありがとうございます。これまでの2年間は、コロナ禍により研究会全体会を開催することができませんでした。今年度は、今般の感染状況をふまえ、規模を縮小しての開催とさせていただきました。本日の全体会に向けて、各校では代議員の先生方による議事等の承認手続きを進めていただきましたことに厚くお礼申しあげます。

さて、令和2年度、3年度の2年間、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応により、教育活動推進には様々な制約が生じる状況となりました。本研究会におきましても、恒例事業の中止・延期、研究活動の縮小・休止等を余儀なくされました。令和4年度に入り、感染症の状況は少しずつ落ちついていますが、感染者数の高止まり傾向がみられ、依然として心配な状況が続いています。各校では子どもたちの健康・安全を最優先とし、新たな感染症対策マニュアル第8版をふまえ、感染症対策を講じながらどの程度活動の幅を広げていくか、日々教育活動の工夫に向けて検討を重ねておられることと思います。

このようなコロナ禍の中、これまで各学校、各支部、各研究部ではできることを工夫しながら研究に取り組んでいただき、教員研究発表会や総合研究発表会で貴重な研究成果を感染症対策を講じた方法で発信していただきました。教育活動の充実に向けてご尽力いただいたことに、心より敬意を表しますとともに、厚くお礼

申しあげます。貴重な研究成果を今後もぜひ各校の教育活動にご活用いただきますようお願い申しあげます。

この度新たな大阪市教育振興基本計画が策定されました。「最重要目標」として、「安全・安心な教育の推進」「未来を切り拓く学力・体力の向上」「学びを支える教育環境の充実」があげられています。各学校では令和7年度までの中期目標、またその間の年度目標や取組内容を位置付けた運営に関する計画を作成し、教育活動を進めておられることと存じます。

本研究会では、令和3年度、4年度の2年間は統一主題・サブテーマとして「変化する社会を主体的に生きる子どもの教育を創造する～主体的・対話的で深い学びの実現～」を継承し、研究活動に取り組んでまいりました。この度新たに策定された大阪市教育振興基本計画の趣旨をふまえ、今後も研究活動の充実に向けて取り組んでまいります。

研究会本部におきましても、今年度は感染症対策を講じながら、本部の諸事業、諸活動について、少しずつ活動内容の幅を広げていければと思っております。後ほどご報告いたします議案の中に掲載している今年度の活動予定をご参照ください。

最後になりましたが、皆様方の温かいご支援・ご協力を改めて感謝いたしますとともに、今後の研究活動が、さらに深化・充実いたしますよう、会員の皆様方のなお一層のご協力をお願いいたします。

また、大阪市教育委員会指導部ならびに大阪市教育センターの皆様には、本研究会の諸活動に引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげまして、全体会開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

令和4年度 本部事業計画

統一主題 変化する社会を主体的に生きる子どもの教育を創造する

～主体的・対話的で深い学びの実現～

1 研究大会

- | | | |
|------------------|------------------|-------------------------------|
| (1) 研究会全体会（縮小開催） | 5月12日(木) | 於：大阪市教育センター |
| (2) 夏季研修 | 8月19日(金) | 於：中央公会堂
(・人権教育講演会・学力向上講演会) |
| (3) 学習指導基本研修 | 8月3日(木)～8月5日(金) | 於：大阪市教育センター |
| (4) 実技研修 | 各研究部にて設定・実施 | 於：大阪市教育センター他 |
| (5) 研究リーダー育成研修 | 年3回程度 | 於：大阪市教育センター他 |
| (6) 授業実践研修 | 年間を通して | |
| (7) 教育研究論文 | 9月1日(木)～9月30日(金) | |
| (8) 第38回 総合研究発表会 | | |

統一主題 「変化する社会を主体的に生きる子どもの教育を創造する」

～主体的・対話的で深い学びの実現～

- | | | |
|-------------|-----------------|---------------------------------------|
| ① 全体会 | 1月20日(金) | 於：大阪市教育センター
・基調報告
・教育研究論文入賞者表彰他 |
| ② 2年次発表会 | 2月3日(金)：各教科、各領域 | 於：未定 |
| (9) 教員研究発表会 | 1月 | 於：24支部において実施 |

2 研究調査 教育課程・指導方法に関する調査

3 研究成果の刊行

- | |
|--------------------------|
| (1) 第38回 総合研究発表会総括資料 |
| (2) 会報発行 2回(No. 166～167) |

【教育研究論文募集】

1 趣 旨

本教育研究会は、統一主題「変化する社会を主体的に生きる子どもの教育を創造する」～主体的・対話的で深い学びの実現～に基づいて、会員の資質向上と各研究部、支部及び各学校の教育活動の推進を図るため、実践的な研究を通した研究論文を募集します。

2 募集対象

○ 応募資格は、大阪市小学校教育研究会の会員

3 論文内容

- (1) 教科・領域（研究部22部門）及び学級・学年経営など、広く教育活動にかかわる内容
- (2) テーマは自由ですが、実践的な研究を通した内容

4 応募要項

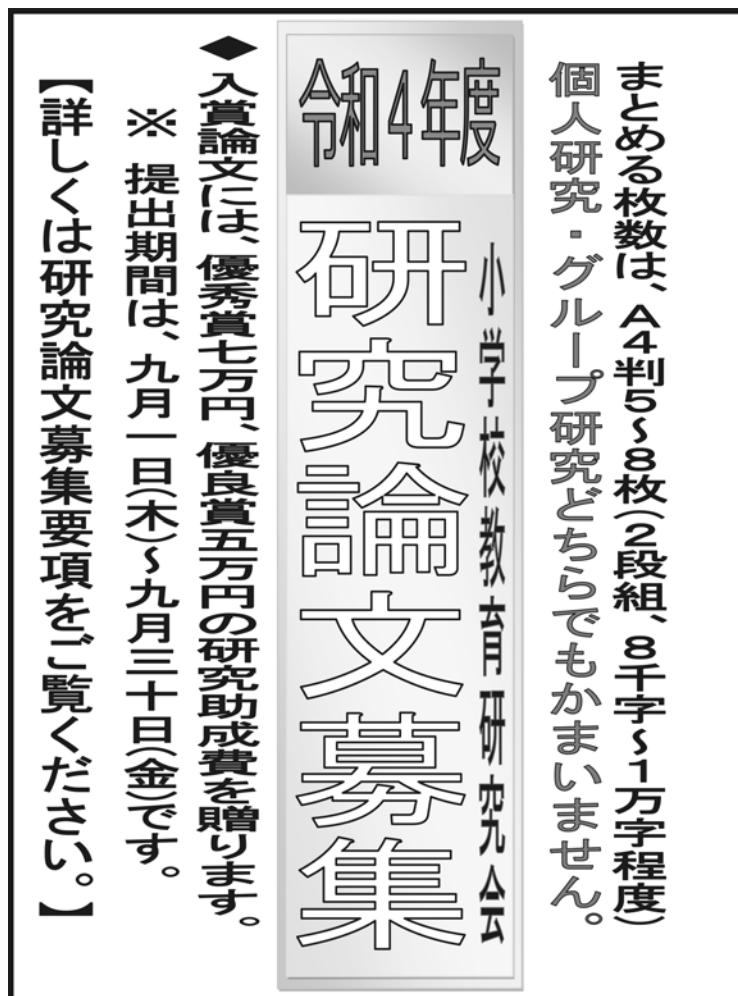
- (1) 形式 ワード等 20×40×2段組 横書き A4版5~8枚以内
(表紙・目次は枚数別、表紙には研究主題、所属学校名、名前をお書きください。)
- (2) 論文に必要な資料や図表、写真は論文の中に組み入れてまとめてください。
(論文に関係する資料等は、添付する必要はありません)
- (3) 個人研究、グループ研究のいずれでも結構です。（学校全体の研究は除く）

5 留意事項

- (1) 研究論文は未発表のものに限ります。
- (2) 原文の中に引用、参考にした文献があれば、それぞれ冊子名、書籍名、著者名、出版社名等を記してください。

6 提 出

- (1) 提出期日 令和4年9月1日(木)～9月30日(金)
- (2) 提出先 大阪市立加賀屋東小学校 田原口 昭貞（研究論文担当）
- (3) 提出方法 応募者は、本教育研究会研究部長あるいは所属の学校長を通して提出してください。



◇お問い合わせ・提出先 住之江区 加賀屋東小学校 校長 田原口 昭貞 Tel. 6681-5000

令和4年度 全役員名簿

< 本部役員 >

役職名	名前	校名
会長	朝田佳明	味原
副会長	津田毅	東粉浜
副会長	安田信彦	加美南部
副会長	井上克己	鶴橋
副会長	信貴通子	放出

役職名	名前	校名
副会長	田原口昭貞	加賀屋東
庶務	田中保	阿倍野
会計	山西直樹	榎本
会計監査	打川和美	野中
会計監査	青山真丈	育和

< 研究部長 >

研究部名	名前	校名
1 国語	栗山功	太子橋
2 社会	村上昌志	常盤
3 算数	當麻俊和	上福島
4 理科	細川克寿	東田辺
5 生活・総合	前谷さき子	大隅東
6 音楽	津田毅	東粉浜
7 図画工作	青山真丈	育和
8 家庭	芝原加代子	深江
9 体育	衣笠博政	堀川
10 英語	松本学	鶴見南
11 道徳	庄司量士	十三

研究部名	名前	校名
12 学級活動	牧野美奈子	中野
13 児童会活動	山本勝巳	日吉
14 クラブ活動	堀尾浩行	海老江西
15 学校行事	赤石美保子	長居
16 特別支援教育	森石泰生	四貫島
17 保健	小島美幸	湯里
18 学校給食食育	松田香	中泉尾
19 学校図書館	林幸男	菅北
20 視聴覚	伊藤浩史	小路
21 生活指導	酒居国宏	明治
22 國際理解教育	的場弥生	新庄

< 支部長 >

支部名	名前	校名
1 北	石原至朗	扇町
2 都島	新健太郎	友渕
3 福島	定金洋介	吉野
4 此花	高岡繁樹	西島
5 中央	豊岡真実	玉造
6 西	酒居国宏	明治
7 港	禰宜田陽子	三先
8 大正	宮岡愛子	三軒家西
9 天王寺	藤原和彦	天王寺
10 浪速	竹内幸延	塩草立葉
11 西淀川	豊田雅弘	佃
12 淀川	岩井伸夫	新東三国

支部名	名前	校名
13 東淀川	青木泰侍	豊里
14 東成	狭間雅夫	大成
15 生野	伊藤浩史	小路
16 旭	栗山功	太子橋
17 城東	信貴通子	放出
18 鶴見	藤本哲	茨田北
19 阿倍野	池田眞一	苗代
20 住之江	矢寺勝彦	敷津浦
21 住吉	土井一弘	依羅
22 東住吉	桐山佳晃	北田辺
23 平野	儀正典	瓜破
24 西成	奥村肇	新今宮